

第 51 回電子情報化委員会 議事録

日時：2012 年 6 月 29 日（金）15:00～18:00

場所：JCI 11F 第 5 会議室

出席者：中村委員長，八十島幹事，吉岡，田嶋，田所，甲斐の各委員
（事務局）井上，戸口

資料

51-0：電子情報化委員会（第 51 回）議事次第

51-1：第 50 回電子情報化委員会議事録（案）

51-2：会員専用ページの利用者数

51-3：HP 小改定に向けた取り組み（全体）

51-4：JCI 会員専用専門家 HP についての意見交換

51-5：コンクリート工学年次論文集 HTML 自動作成ツール利用マニュアルの追加

51-6-1：年次論文集の電子化について

51-6-2：JCI コンテンツのデジタルアーカイブ化について（別紙 1）

51-7：年次大会についてのご提案

議事

1. 前回委員会議事録（案）の確認（八十島幹事，資料 51-1）
 - ・ 第 50 回議事録（案）の内容が確認され，誤字を修正した。
 - ・ 正会員の会員情報を確認するための書類送付は，保留中であることが事務局から報告された。
2. 年次大会向けシステムの説明（株式会社アトラス，資料 51-7）
 - ・ アトラス提供の投稿・査読システム（Editorial Manager）は，J-STAGE のシステムとの違いはなく，カスタマイズできるという特徴があり，カスタマイズ費用による追加料金は発生しない。
 - ・ 査読者の選定方法は，いままでと同様なデータベースに基づいて行うことができるが，件数制限ができないために事務的な管理が必要になる。
 - ・ 査読者の意見入力欄は，カスタマイズにより複数設置できるが，著者の修正報告ボックスはひとつになる。ただし，査読の方法や流れは現在のシステムと大きな変化はない。
 - ・ システムが非常に堅牢であるため，回線とサーバーの負荷は問題にはならない。また，セキュリティも万全である。
 - ・ CD-ROM 作成は，実績定評のあるよしみ工産株式会社に依頼することになる。
 - ・ 現在のシステム代金よりも年間 150 万円ほど安くなる予定である。
 - ・ 大会講演会の一覧情報は，印刷会社から提供してもらうか，査読システムからダウンロードすることで取得可能である。
 - ・ 投稿・査読システムの採用決定スケジュールについては，査読委員会に意見等をうかがうため，今年 8 月からの新規導入は厳しそうであるが，来年なら間に合いそうである。
 - ・ 電子情報化委員会の中で査読委員の方，もしくは最近査読委員だった方がいたら，システム

の検討をお願いする。

3. メールニュース登録者・会員専用ページ利用者について（事務局，八十島幹事，資料 51-2）
 - ・ 現状の登録者数 5998 名（2012 年 6 月現在，会員 1813 名，非会員 4185 名）。前回委員会（3 月）より約 500 名増。主に診断士の講習会による増加である。
 - ・ 会員専用ページの利用者数が報告され，現在 1600 名程度（全体の約 2 割）が利用している。
4. JCI ホームページについて（八十島幹事，資料 51-3）

八十島幹事より，ホームページ WG において議論した内容が説明された。

 - ・ HP のトップページの写真やバーナーを変更し，情報を得やすい形に改定する予定である。
 - ・ 英語版ページについては，入会案内などを翻訳すると共に，既存の情報が得られやすいように再編する予定である。また，会誌，論文集，Q&A 等のページについても情報整理して見やすい形に改定する予定である。
 - ・ 今後の大改定に向けた準備として，8 月末を目途に改定を行う。
5. 動画配信テスト（田嶋委員）

田嶋委員が本委員会の動画配信テストを行った。

 - ・ 年次大会 2012（広島）の特別委員会による中間報告会を会員専用ページで動画配信する予定である。
 - ・ 年次大会当日の設営準備は，吉岡委員と八十島幹事が手伝うことになった。
6. 会員専用ページ（吉岡委員，資料 51-4）

吉岡委員から資料の説明があった。

 - ・ JCI 理事の公認が得られれば，コンクリート基本技術調査委員会からコンテンツ作成についての協力が得られ，各 WG から情報提供が受けられそうである。
 - ・ 十河先生からのその他の意見として，メール内容がダイレクトメールのようになっており，学会としてのメッセージを含んだ内容が必要であること，コンクリート Q&A の内容は，退職された OB に依頼してはどうか，という見解が報告された。
 - ・ 会員専用コンテンツの作成について理事の公認を得るために，会員専用ページで公表できる内容およびその位置づけと目的を明記した諮問書を作成する。なお，一般向けに対するコンテンツは，会員向けコンテンツの一部を見せることにする。（担当：吉岡委員）
7. 年次論文集 HTML 自動作成ツールの利用マニュアル（八十島幹事，資料 51-5）

八十島幹事から資料の説明があった。

 - ・ 自動作成ツールをアップデートし，データベース用の csv ファイルを作成するようにした。また，そのファイルの処理方法に関する利用マニュアルが説明された。
8. メールニュース
 - ・ コンクリート工学論文集のみのメールニュースが必要であり，題目や論文 URL 等の内容作成は編集委員会で担当してもらおう。作成手順としては，本委員会で検討した雛形が利用できる。

- ・ コンクリート工学論文集，会誌，会員専用ページ等の情報発信に伴い，現状に見合ったメールニュースの書き方を再検討する必要がある。（担当：高橋委員）
9. 年次論文集の電子化について（田所委員，資料 51-6-1，51-6-2）
田所委員から資料の説明があった。
- ・ 掲載手順としては，学会登録票への必要事項の記入，覚書と申合せに関する書類確認・返送，提供条件の決定，電子化用冊子体の送付という手順であり，基本的に無料で掲載可能である。
 - ・ CiNii への掲載は，新しい年度から開始することとし，重複のない冊子は今後集めることにする。
10. 次回日程
- ・ 次回は 2012 年 9 月 24 日（月）15：00 から，JCI 会議室にて実施する。

以上